

令和6年12月5日



## 「脱 当たり前」大切なのは公益のために働ける環境づくり (職員ウェルビーイング・プロジェクト第1弾)

河内長野市（市長：西野修平）は、職員のウェルビーイングを向上させるための取り組みの第1弾として、軽装勤務の通年化を行うこととしました。

河内長野市ではこれまで、関西広域連合による「関西脱炭素アクション」の呼びかけに応じ、5月から10月を「関西夏のエコスタイル」、12月から3月を「関西冬のエコスタイル」として期間を定め、職員の軽装勤務を実施してきました。このたび、これまでの取り組みに加えて、職員が働きやすい職場環境づくりを行い、仕事の生産性を向上させるため、軽装勤務の取り組みを通年で実施するものです。

### 1. 目的

- ・職員のワークスタイルを変革し、動きやすく、働きやすい服装をすることにより、仕事の機動性・生産性を高める。
- ・職員の多様性を尊重し、働きやすい職場づくりを行う。
- ・関西脱炭素アクションの取り組みを推進する。

### 2. 実施内容

- ・年間を通じて、気候や仕事環境に応じた働きやすい服装での勤務を推進する。
- ・式典への出席時など、社会通念上必要と判断される場面においてはジャケット・ネクタイを着用するなど、フレキシブルに対応する。

※令和6年12月市議会定例会より、会議でのネクタイの着用は任意としています。

- ・軽装勤務を推進するが、市職員として品位を損なわず、節度ある服装を心がける。

### 3. 実施時期

令和6年12月6日（金）から

【問い合わせ】

河内長野市総合政策部人事課（電話：0721-53-1111）